

乳幼児の服薬に関する 保護者の情報収集方法についての実態調査

P-357

○嶋田 光希¹, 常山 俊和¹, 沼田 聡美¹, 教森 美佳¹, 板谷 美裕¹, 上田 正人¹,
木村 真弓¹, 寺門 千佳子¹, 難波 美穂¹, 石川 洋一²



(1)一般社団法人くすりの適正使用協議会 (2)明治薬科大学 臨床薬学部門/小児医薬品評価学

背景

乳幼児の服薬に関して、保護者が参考にする「情報源」と、「情報の取捨選択」の実態が把握できていない

近年、乳幼児に関する健康情報を収集するために、インターネットを利用する保護者が増えている。しかしながら、乳幼児をもつ保護者がどのような情報源を活用し、どのような判断基準をもとに情報サイトを選択しているのか、実態は明らかになっていない。

目的

乳幼児の服薬に関する保護者の「情報収集方法」と「情報の判断基準」に関する実態調査

本調査では、乳幼児の服薬に関する保護者の情報収集方法についての実態を把握することを目的とする。

結論・考察

1. 保護者は、医療従事者への相談とインターネットを中心に、情報収集している
2. 乳幼児の服薬に関して、保護者のニーズを満たす情報サイトが不足している
3. 信頼性のある情報サイトの整備が必要である

本調査により、乳幼児をもつ保護者は、乳幼児の服薬に不安を抱いている際は、インターネットと医療従事者への相談を中心に情報収集していることがわかった。保護者のニーズを満たし、参考にできるサイトが不足していることが示唆された。したがって、本調査により、乳幼児の服薬に悩みをもつ保護者の視点にたちながら、信頼性のある情報サイトを整備する事が重要であると考えられる。

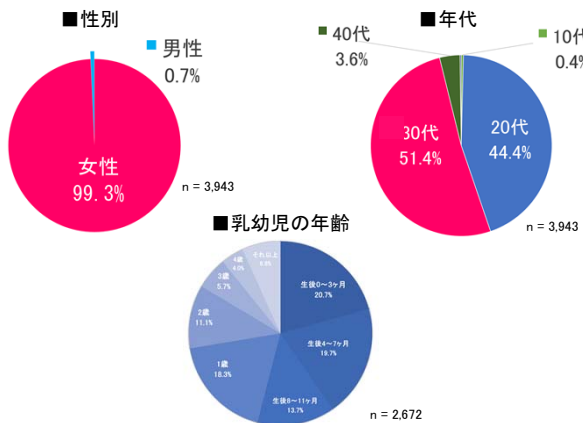
方法

本調査は、2018年2月26日(月)～2018年3月12日(月)の2週間にわたって、乳幼児をもつ保護者(子育てマガジンを運営する「Cozre」ユーザー) 3,943名に対し、インターネットによる無記名のアンケート調査を実施した。そのうち「乳幼児の服薬に関する保護者の情報収集方法」に関するアンケート内容に、2,672名が回答した。データに関しては、統計ソフトであるStata15(version15.1)を用いて集計を行った。本調査は、(一社)くすりの適正使用協議会倫理委員会の承認(承認番号:20180215-3)を得て実施した。

結果

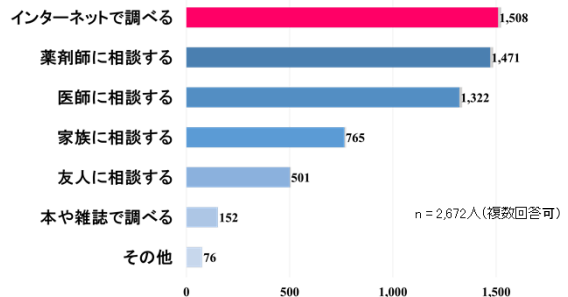
回答者の属性

注意: 回答者の個別属性は入手できなかったため、すべてのアンケート回答者の結果である。



結果①

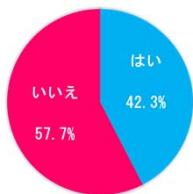
Q. 子どもへのくすりの飲ませ方や使い方に困ったとき、どのような方法で情報を集めますか



乳幼児の服薬に関して情報収集する際に、保護者の56.5%が「インターネット」を用いて情報収集をしている。次に、「薬剤師に相談する」が55.0%、「医師に相談する」が49.5%であった。「インターネット情報で調べる」を選択した29.6%(全回答者2,672人中の16.7%)は、「医療従事者に相談」を行っていない可能性が示唆された。

結果②

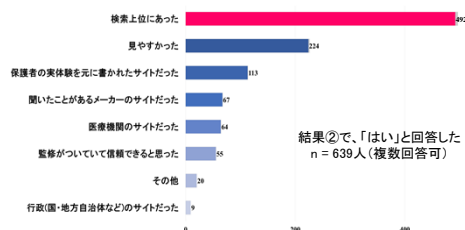
Q. 参考になったサイトはありましたか



結果①で、「インターネットで調べる」と回答した n = 1,508人

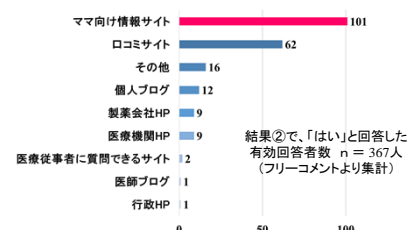
結果③

Q. サイトはどのような基準で選びましたか



結果④

Q. 具体的に参考になったサイトは



参考:信頼性のある情報サイトを作成し、啓発活動を実施



ポイント

1. 育児中の約2,700名の保護者から寄せられた、悩みや困った経験をもとに作成
2. わかりやすい言葉や、ひと目で分かるイラスト、図表
3. 薬の形状ごとの飲ませ方、薬を飲む時の環境づくり、困った時に誰に何をどう聞かのかの細かいアドバイスも



↑こちらより直接HPにアクセスできます

保護者向けサイト「子どもにくすりをのませるコツ」 2019年2月20日にWEB公開
http://www.rad-ar.or.jp/use/child



配布用カード型資料を作成